

明日の医療を担う!

平成30年度 広島大学医学部
ふるさと枠のご案内
[広島県コース]



広島大学



広島県
Hiroshima Prefecture



地域医療を担う医師の育成について

広島大学長 越 智 光 夫

我が国は現在、これまで人類が経験したことのない超高齢化社会を迎えています。少子化、財政の逼迫など、厳しい社会環境変化の中で、広島圏域では特に中山間地の地域医療を担う医師と特定の診療科の医師不足が深刻です。そうした中で、平成20年には「みんなで守ろう広島県の医療」緊急アピール」が発表され、平成21年から広島大学と広島県が連携して広島県での医療を担う人材を育てるため「ふるさと枠入試」を開始いたしました。

幸いにも平成21年に5名、平成22年から平成24年は各年15名、平成25年以降は各年18名と順調に優秀な学生が入学し、一般学生とともに充実したキャンパスライフを楽しんでいます。これまでに153名（男子74名、女子79名）の方が入学し、平成26年度には5名、平成27年度には14名、平成28年度には16名の学生が卒業され、現在、県内の公的医療機関等で臨床研修に励んでいます。このふるさと枠で「診療科の選択の自由がない」とか「先進的な医療の勉強ができない」といったことはまったくありません。「総合医」や「専門医」になるのも基本的には自由です。とにかく広島県内で活躍し、医療を通じて社会貢献を果たしたいという方を広島大学は全力で応援します。

どうぞ奮ってご応募いただきますようお願いいたします。



ふるさと枠をめざす皆さんへ

広島県知事 湯 崎 英 彦

広島県は、現在、県政の基本となる4つの政策の柱の一つとして、「安心な暮らしづくり」を掲げ、県民の皆様が、健康で豊かな生活を送られるとともに、県内のどこに住んでいても、安心して必要な保健・医療サービスが受けられるよう、市町をはじめ、広島大学、医師会等の関係団体と連携しながら、地域医療の体制づくりを推進しています。

その中で、県内には、多くの中山間地域や島嶼部があり、地域の医療をどのように守り・支えていくかが、大きな課題となっています。

広島大学におかれては、平成21年度入学者から、広島大学医学部医学科に「ふるさと枠」制度を創設され、また平成22年度からは、医学部学生が地域医療を学ぶ機会として、中山間地域の医療現場での「地域医療実習」を実施されるなど、地域医療を担う医師の養成や地域医療の充実に向けた取組みを進めていただいています。

ふるさと枠制度は、昨年度で第一期生の5名が初期臨床研修を終え、平成29年度から県内各地域での勤務がスタートしました。今後、ふるさと枠の卒業医師が、地域医療を支える中心的な役割を担い、県内で広く活躍されることを、心から期待しています。

本県では、「仕事でチャレンジ！暮らしをエンジョイ！活気あふれる広島県」を目指す姿に掲げ、仕事も暮らしも欲張りに追求できるライフスタイルの実現に向けて、様々な取組を進めています。

是非、皆さんもふるさと枠を目指していただき、ご自身が描く将来像が心身ともに充実した形となって実現するように、将来の地域医療を担うという高い志の下で何事にも欲張りにチャレンジしてください。

～ 広島大学医学部ふるさと枠で学べること ～

基本的には、全ての授業・実習において一般の学生と全く同じ内容を学習します。小グループごとのゼミナールにおいても一般の学生と混ざるようにグループ分けをしています。しかし、それとは別に、ふるさと枠の学生を対象としたプログラムがあります。そこでは、定期的なミーティングや休みの期間中を利用した実習などを通して、皆さんが総合診療や地域医療を早期に体験できるよう企画してあります。将来皆さんがどんな専門性を選択されるかは基本的には自由なのですが、総合診療は全ての診療の基礎となるものです。それらを早期にしかも深く体験できるよう配慮しています。

広島大学医学部長からのメッセージ



広島県では、これまで多くの高校生が県内外の医学部で学び、医師となって県内の医療を支えてきました。そして日本一周産期（出産前後の妊産婦）死亡率が低く、大学病院、一般病院、そして医師会が強く連携する優れた医療圏を形成しています。これから広島大学で学ぶふるさと枠の学生には、他の入試枠の学生と変わりなく教育を受けつつ、在学中から地域医療との関わりに配慮したプログラムが用意され、広く高度な医学、医療に挑戦する道が開かれています。高い志と強い公共心を持つ皆さんが来たることを期待しています。

広島大学医学部長 秀 道広

広島大学医学部ふるさと枠の先輩から

ふるさと枠は、同じ目標をもった仲間と日々切磋琢磨できる素晴らしい制度です。普段みんなで作る授業とは別に、お昼休憩や夏季・冬季の長期休暇を利用して、みんなで地域医療について学ぶことができます。そういった行事を通じ、ふるさと枠生同士で学年関係なく仲を深めることができ、大学生活をより楽しいものにできます。そんな充実した大学生になりたい方は、ぜひ一緒にふるさと枠でがんばってみませんか？お会いできることを楽しみにしています。

医学科4年 岡嶋瑠那

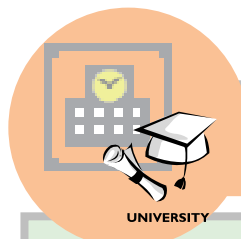


ふるさと枠は、将来広島の医療を担う人を育成するものですが、難しく考えることはありません。普段は他の医学科生と変わりありませんし、むしろ長期休暇の実習や任意のセミナーに参加することで、自分が目指す姿についての意識を高められ、また、先輩方や後輩と仲良くなれるので、自分の財産になります。

広島で医師として働きたい方、是非ふるさと枠でお会いしましょう。

医学科3年 七尾裕太





入学から卒後の進路

《 例 示 》

入 学

教育：広島大学医学部

卒 業

臨床研修（2年間）【義務期間内】

県内の公的医療機関等（7年間）【義務期間内】

（例）広島大学病院、県立広島病院、広島市民病院、広島赤十字・原爆病院、JA 広島総合病院、安芸太田病院、JA 吉田総合病院、東広島医療センター、済生会広島病院、中国労災病院、三次中央病院、庄原赤十字病院、神石高原町立病院、尾道市立市民病院、JA 尾道総合病院、公立世羅中央病院、公立みつぎ総合病院、福山市民病院、府中北市民病院、府中市民病院 など

うち、4 年間は中山間地域等の公的医療機関等
又は知事が指定する診療科

*義務年限 9 年

*卒業後 12 年間の猶予期間の中で、9 年間の義務に従事することになりますので、
途中、希望により 3 年間まで後期研修や学術研究等を行うことができます（義務期間外）

広島県の医師育成支援

地域医療マインド養成プログラムの実施

ふるさと卒卒業医師に係るキャリアプランの実施

広島県地域医療支援センターによる支援

ふるさと卒奨学金制度の概要

○募集対象 ①及び②の要件を満たす者

①広島県内の高等学校を平成 28 年 4 月以降に卒業した者及び平成 30 年 3 月に卒業見込みの者

②広島県が貸付ける奨学金を受給し、かつ卒業後は広島県で医療に従事する強い意志のある者

○貸付期間 平成 30 年 4 月から平成 36 年 3 月までの 6 年間

○貸付金額 年額 240 万円（月額 20 万円 × 12 月）

○返還免除 貸付終了後、貸付期間の 2 倍に相当する期間は、奨学金の返還を猶予します。その間に、別途策定する基準に沿って、次の条件を満たした場合、奨学金の返還を全部免除します。

【条件 1】貸付期間の 1.5 倍に相当する期間（必要従事期間。広島大学病院等県内での初期臨床研修 2 年間を含む。）を、広島県内の公的医療機関等において医師の業務に従事する。

【条件 2】必要従事期間から初期臨床研修 2 年間を除いた期間の 1/2 の期間（1 年に満たない端数は 1 年に切り上げ）を、次のいずれかで従事する。

①知事が指定する県内の中山間地域等の公的医療機関等

②公的医療機関等の知事が指定する診療科

広島大学大学院医歯薬保健学研究科地域医療システム学講座からのメッセージ



当講座は平成 22 年度に広島県の寄付講座として設置されました。ふるさと枠の学生の皆さんが充実した学生生活を過ごせるように、また卒後の進路に夢を持てるようにすることが大きな目的の一つです。ふるさと枠というのは比較的新しい制度ですので、皆さんの不安が起こらないように、一人一人の思いを聞きながら支援していきたいと考えています。入学後から定期的にミーティングをしながら、たくさんの企画を準備しております。広島県の地域医療を引っ張っていけるような人材に育っていただきたいと願っております。

地域医療システム学講座 教授 松本正俊

広島県健康福祉局長からのメッセージ

広島大学医学部ふるさと枠は、広島大学と広島県が一体となって、地域医療を志す医学生を募集し、情熱を持った医師として育てていくものです。

医療は、様々な専門職の役割分担と協力の上で成り立っています。中でも地域医療を担う医師は、住民の方々の生活に深く関わり、支援する中心的な役割が期待されることから、医療だけではなく福祉や介護などの幅広い視点も備えた、より高い人格と能力が求められます。

期待される役割はとても大きいものですが、地域を支える医療に携わり、住民の期待に応えていくことは、何者にも代え難いやりがいを与えてくれるものと考えています。

県としても、地域医療を志す皆さんの熱意や希望に対して、しっかりとバックアップしていきます。ふるさと枠での学びや経験が、県内の医療の一翼を担う逸材として大きく成長される糧となることを願っています。

広島県健康福祉局長 菊間秀樹

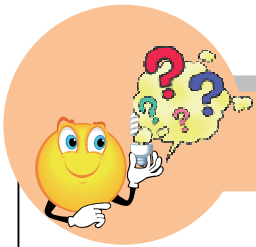


地域病院からのメッセージ

この数年、地域医療の現場では医師不足が進み、日本全国で厳しい状況が続いていますが、これまで地域医療の現場の楽しさを医学生や若い医師に十分に伝えられていなかったことも医師不足を招いた原因かもしれません。地域医療は、プライマリーケアそのものであり、各科を超えたさまざまな疾患の初期診断や治療、救急医療、生活習慣病、終末期医療、老人医療、介護問題など、その内容は多岐にわたり、医師として大変やりがいのある、魅力ある仕事です。「ふるさと枠」の仲間で地域医療をもっともっと楽しく、魅力のあるものにしてゆきましょう。

神石高原町立病院 副院長 服部文子





Q & A

Q
A

広島大学ふるさと枠の学生は、他の学生と違う学部教育を受けるのですか。

全ての授業・実習から、地域医療実習を含む臨床実習に至るまで、全く同じ内容を学習します。それとは別に、ふるさと枠学生を対象としたプログラムがあり、定期的なミーティングや休暇中のセミナーなどを実施します。ふるさと枠学生に対しては、在学中に積極的に国内外での見聞を広め、クラスを引っ張っていく存在になれるよう、指導致します。

Q
A

広島大学ふるさと枠の卒業生は、自分の行きたい「科」を選ぶことが出来るのですか？

「広島県医師育成奨学金制度の概要」に記載してある返還免除の条件2の①には、自分が将来目指す「科」について、特に制限は書かれていません。ただし、中山間地域勤務期間は原則として総合医として勤務しますので、研修中は、原則として総合医としての修練が必要です。これらの総合医としての経験は、その後総合医としてキャリアを歩む場合はもちろん、専門医を目指す場合も本人の一生の財産となります。

Q
A

広島大学ふるさと枠の卒業生は、いわゆる「専門医」を目指すことは出来るのですか？

「広島県医師育成奨学金制度の概要」の返還免除の条件2の②に「知事が指定する診療科」という文言があります。これはまさに「専門医」に該当します。つまり県が「深刻な医師不足」と判断した科であれば、その科を選択することができ、その場合、勤務地は中山間地に限定されません。次に「知事が指定する診療科」に行かない場合、中山間地域勤務期間は原則として総合医として勤務しますが、中山間地域勤務期間終了後、専門医を目指す始めることは問題ありません。また中山間地域勤務期間中も、広島大学の地域医療システム学講座と連絡をとりつつ、目指す専門医に関わる広島大学の診療科に所属し、将来の専門医取得に向けて準備を始めることが出来ます。

Q
A

9年間は、先進的な医療技術の勉強ができないのではないのですか？

そのような心配を聞きますが、大丈夫です。まず、「総合医」を目指す場合、広島大学の地域医療システム学講座・総合診療科をはじめとした全診療科・卒後臨床研修センター、県立広島病院を中心とする県内の公的医療機関等が支援し、最先端の「総合医」を育成します。次に「専門医」を目指す場合、広島大学の診療科が中心となって全面的にバックアップします。今後、情報回線を利用したテレ・メディスンも発達し、その活動を支えます。この「ふるさと枠」は、私たち納税者・県民によって支えられる制度であり、総合医であれ専門医であれ、広島で活躍する優秀な医師を輩出することを目標と考えています。

Q
A

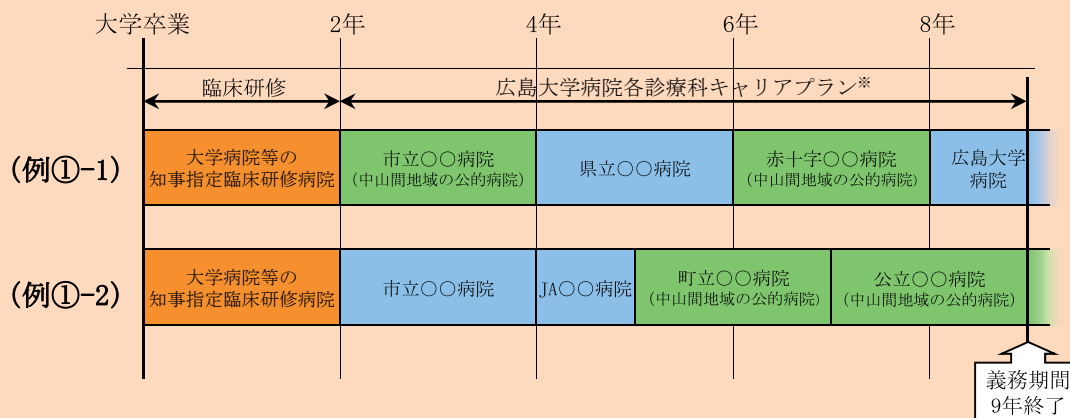
予想されるコースについて実例を挙げていただけますか？

例えば、「初期臨床研修（県の指定医療機関）2年間」→「県内の公的病院3年間」→「県の指定する中山間地域等の公的医療機関等4年間」といったコースが実例として挙げられます。すなわち一般医学科生と大きな違いはないのです。

ふるさと枠入学者の大学卒業後のコース(例)

大学卒業後、知事が指定する公的医療機関等（広島大学病院など）で臨床研修を行い、その後、引続いて県内の公的医療機関等において義務期間を勤務する場合

【例①：義務期間の1／2の期間を中山間地域において勤務する場合】

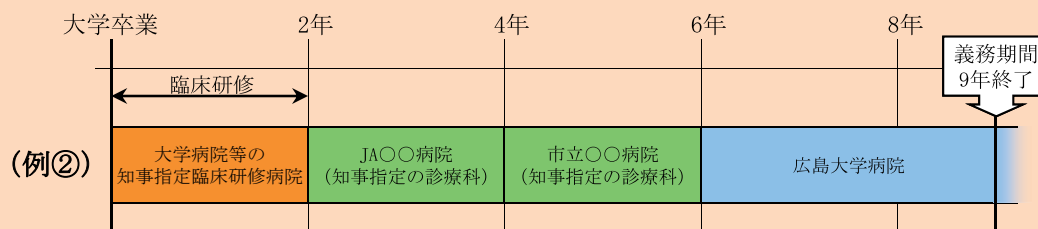


中山間地域の公的医療機関（例）

安芸太田病院，市立三次中央病院，庄原赤十字病院，JA 吉田総合病院，
神石高原町立病院，公立世羅中央病院，公立みつぎ総合病院 など

※広島大学病院の専門医育成プログラムを持つ27診療科がキャリアプランを用
意しています。

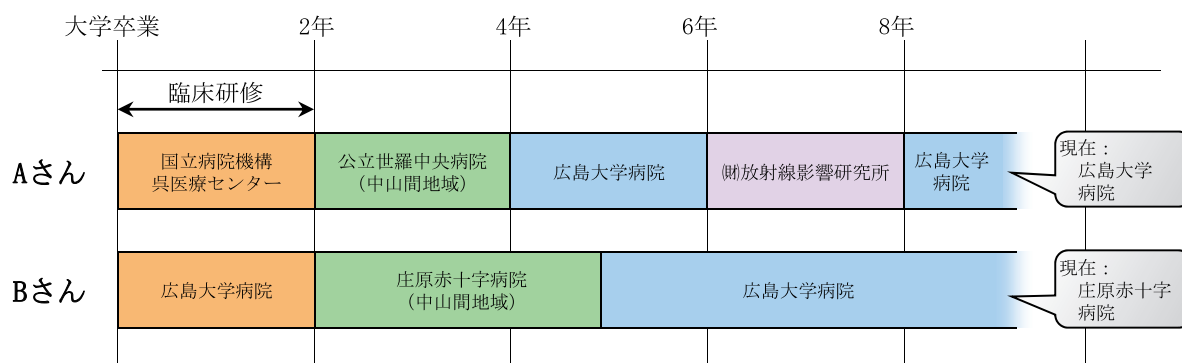
【例②：義務期間の1／2の期間を知事が指定する診療科に勤務する場合】



「知事が指定する診療科」は，今後，深刻な医師不足の状況などを考え，広島
県内で確保する必要性が高い診療科について指定されます。
現在は病理診断科が指定されており，数年おきに見直される予定です。

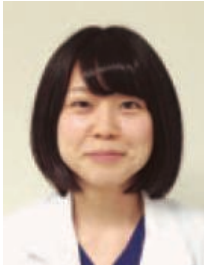
(参考) 大学を卒業後，現在，広島県内の医療機関で勤務している医師の実例

(ふるさと枠でない医師)





キャンパスライフ



ふるさと卒1期生で現在庄原赤十字病院で循環器内科医として勤務しています。ふるさと卒生は普段は一般の学生と変わりありませんが、長期休暇にあるセミナーでは地域医療を肌で感じることができ、モチベーションの維持につながります。また、自治医科大学生と交流もでき、現場では貴重な繋がりになっています。田舎はまだまだ医師不足です。広島県の医療を支える一員を目指しましょう！

庄原赤十字病院 循環器内科 板倉文乃

ふるさと卒先輩からのメッセージ

6年生男子

受験生のみなさん。ふるさと卒の魅力は、何と言っても学年の垣根を越えた繋がりができるところです。多くの人が部活やサークルに所属していますが、ふるさと生はそれに加えておよそ100人もの先輩と知り合いになれます。年間を通してたくさんの交流の場があるので、ぜひふるさと卒に入って一緒に頑張りましょう！

〈部活の写真〉



広島が
好きな人
大歓迎！

6年生女子

1年生の時期から、地域医療の現場を目で耳で心で感じることでできる実習に参加できることは、ふるさと卒の大きな魅力の一つです。他にも毎週開かれる集まりや海外研修（希望者）など、色々な経験ができる環境となっています。

6年生女子

ふるさと卒で入学すると、同じ志を持つ人との交流の機会が増えます。また、長期休暇には地域医療に関する実習をすることができ、良い刺激となっています。ふるさと卒で沢山の仲間と充実した大学生活を送りましょう！

同じ志を持つ
仲間がいる
喜び



6年生男子

僕がふるさと卒の利点を一つあげるとすると、他の人より一つ多くコミュニティをもつことができたことです。医学科、部活動、そしてふるさと卒です。ふるさと卒は今や一大勢力となっており、同級生とはもちろん強い絆で結ばれ、さらに他学年の知り合いができるという利点がとても大きいです。しかも、毎年新しい出会いもありとても新鮮です。その「つながり」は学生生活の様々な面で有利に働くことは間違いありません。特に、知り合いが多いと普段からいろいろな人と話したり、遊んだり、楽しいことばかりです。ぜひ、みなさんもふるさと卒ファミリーに入ってくださいね！

5年生女子

私はふるさと卒に入って本当に良かったと思っています。ふるさと卒では毎週水曜日にふるさと生の集まりがあり、縫合や医療面接など早いうちから様々な体験ができます。また、同じ志を持った人たちが集まっているので、普段友達とは話さないような将来の話などもすることができ、モチベーションが上がります。ふるさと卒は頼れる優しい先輩、仲間ばかりでとても楽しいです。ぜひ、一緒にふるさと生として濃く充実した学生生活を送りましょう！

5 年生女子

ふるさと枠は、学年内はもちろん、学年を越えたつながりがたくさんできるという点で私にとってとてもプラスになっています。ふるさとで入っていなかったら普段あまり考えないような将来のことから恋愛相談まで何でも話せる同期、先輩、後輩に囲まれて、とても楽しく充実した大学生活を送れること間違いなしです！

5 年生女子

ふるさと枠を受けようかなって思っている受験生の皆さん、こんにちは！ふるさと枠は、定期的に集まりがあるので、沢山の先輩と仲良くなることができます。先生を始め、全員が優しくフレンドリーです。また、みんな、勉強だけでなく部活やサークルもしっかり楽しんでいきます！かく言う私も何個かの部活・サークルを掛け持ちしています。ふるさと枠に入って、素敵な人々に囲まれて、充実した大学生活を送ってみませんか？

学年を越えて
交流あり



〈ネパール研修の写真〉



5 年生女子

私はふるさと枠で入学できて本当に良かったと思っています。

毎週1回のセミナーで縫合や医療面接などの練習を行ったり、長期休暇中の実習で実際に中山間地域の医療に触れたりすることで他の学生よりも早い時期から多くの経験ができます。入学前よりも地域医療に対する具体的なイメージ、さらに強い信念を持てるようになりました。同学年のふるさと生はもちろん、同じ志を持つ先輩や後輩とも多くの時間を過ごすことができますよ！新たな仲間が増えることを楽しみに待っています！



理想的な
プログラム！



〈平成29年度新入生と知事との写真〉



※自治医科大学入学者3名、岡山大学地域枠入学者2名を含む。



入試情報

医学部医学科推薦入試「ふるさと枠」に関する入試情報は、広島大学のホームページをご覧ください。

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/nyushi>



広島大学

入試に関するお問い合わせ

〒734-8553 広島市南区霞 1-2-3

担当：広島大学霞地区運営支援部学生支援グループ（医学部担当）

電話：082-257-5049

その他ふるさと枠全般に関するお問い合わせ

〒734-8553 広島市南区霞 1-2-3

担当：広島大学大学院医歯薬保健学研究科地域医療システム学講座

電話：082-257-5894



広島県

Hiroshima Prefecture

奨学金制度に関するお問い合わせ

〒730-8511 広島市中区基町 10-52

担当：広島県健康福祉局医療介護人材課

電話：082-513-3062